

今夏の電力需給対策について

今夏の電力需給対策については、昨日開催された「エネルギー・環境会議及び電力需給に関する検討会合」において、関西電力管内では電力需給の逼迫が深刻であることから、非常に厳しい目標が示されたところである。

関西広域連合においては、これに従い、「電力需給等検討プロジェクトチーム」からの検証結果の報告を受け、15%以上の節電が必要であるとともに、電力需給逼迫の緩和を図るためには需要・供給の両面からの一層の対策を進めていく必要があることを確認した。

関西広域連合としては、関西の府県民の安全・安心の確保や産業活動・都市機能の維持等の観点から、今夏の電力需給対策について、国や関西電力と連携協力し、次のように進めることとする。

1 今夏の節電目標等については、次のとおりとする。

- ・ 目標：平成22年度比で15%以上の節電
- ・ 期間：7月2日（月）から9月7日（金）までの平日（8月13日～15日除く）
- ・ 時間：9時から20時まで

加えて、上記節電に支障の生じない範囲で、揚水発電の供給量増のため、早朝（7時～9時）や夜（20時～25時）に市民生活や経済活動に支障を生じない範囲での消費電力の抑制を要請する。

2 対策については、関西の府県民や事業者の皆様にも、厳しい事態であることを認識いただくため幅広く啓発活動を行うとともに、電力使用制限令の発動などの強制的な対策に至らないよう、自主的な対策をしっかりと進めていただくことをお願いする。

3 また、種々の対策を講じてもなお需給が逼迫すると判断される場合には、府県民や事業者の皆様にも特段の呼びかけを行い、照明の一斉消灯やエアコンの一時停止などの一層の対策をお願いする。

4 さらに、万一に備えて、事前に緊急時の対応についても十分に検討しておく。

平成24年5月19日

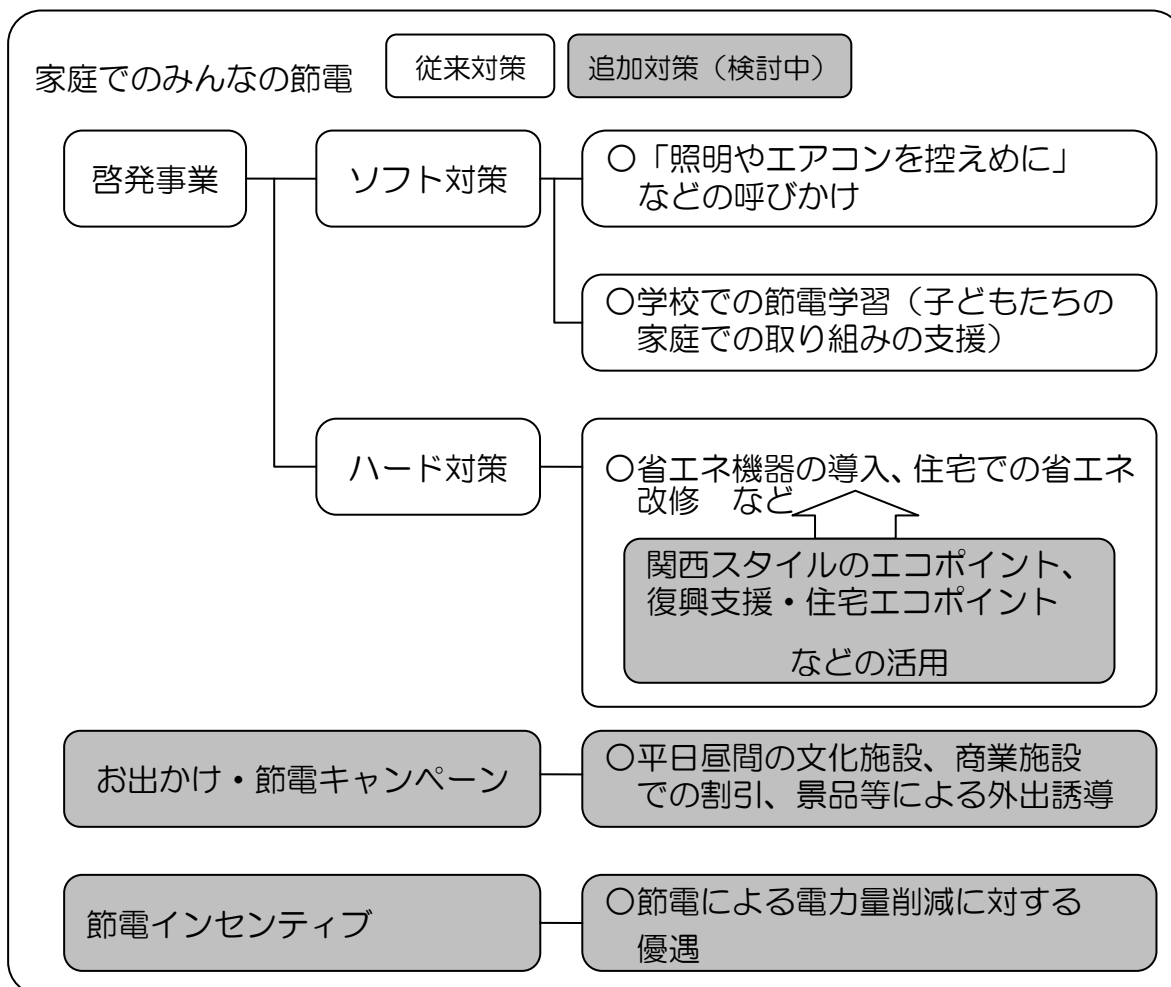
関西広域連合

連合長	兵庫県知事	井戸敏三
副連合長	和歌山県知事	仁坂吉伸
委員	滋賀県知事	嘉田由紀子
委員	京都府知事	山田啓二
委員	大阪府知事	松井一郎
委員	鳥取県知事	平井伸治
委員	徳島県知事	飯泉嘉門
委員	大阪市長	橋下徹
委員	堺市長	竹山修身

[主な節電対策の方向性]

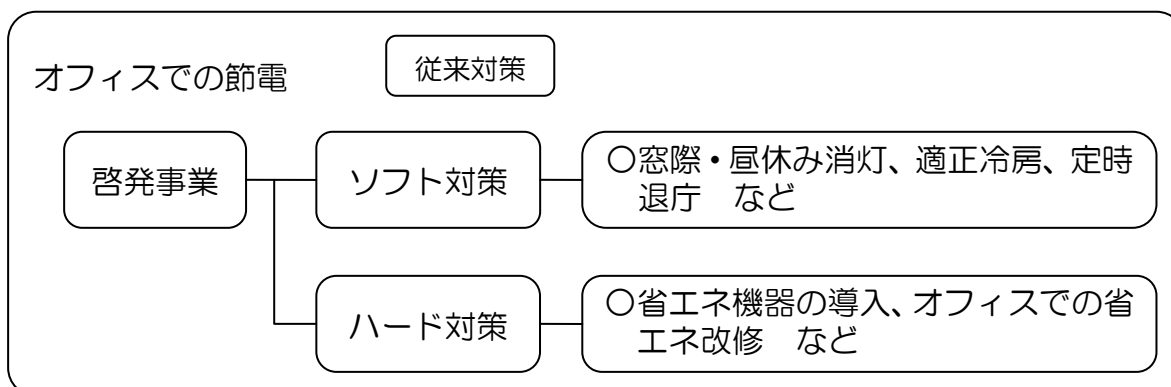
①家庭編

節電の呼びかけなどの従来の取組に加え、新たに、関西スタイルのエコポイント事業の活用や節電に対する優遇策などに取り組む。



②オフィス編

照明や空調における省エネ・節電対策など従来の取組の徹底を呼びかける。



③ 各府県市における率先実行

庁舎における節電行動やピークシフトなどの従来の取組に加え、新たに、緊急時における非常用電源の稼働に取り組む。

